



八戸高専だより

第159号 令和3年3月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

タモロック2020



女性のための防犯講座



校内球技大会

目次

卒業生・修了生への祝辞(学校長より)	1
卒業生・修了生への祝辞(後援会長より)	2
本科生 祝・卒業	3
卒業生・修了生の進路状況	5
卒業研究テーマ一覧表	7
専攻科生 祝・修了	9
専攻科特別研究発表会表彰者	9
専攻科特別研究テーマ一覧表	10
就職・進学体験記	12
インターンシップ	13
退職するにあたって	13
教務委員会から	14
厚生補導委員会から	15
北辰寮から	16

4 学期制実施部会から	17
国際交流センターから	18
留学生担当から	19
相談室から	19
男女共同参画委員会から	20
キャリア教育・支援センターから	20
図書館委員会から	21
ロボコン担当者から	22
プロコン担当者から	22
各種コンテスト結果一覧	23
各種検定資格合格者一覧	24
新型コロナウイルス感染症への対応	25
留学生紹介	26
令和3年度行事予定表	27



コロナ禍での八戸高専

八戸工業高等専門学校 校長 圓 山 重 直

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校に入学してからの5年間または7年間は、皆様の人生にとって重要な期間です。この間、皆様の成長は目覚ましいものがあります。本校で学んだ多くのことを、社会や進学先で生かして大いに活躍することを期待します。これまで、見守り支援してくださった保護者の皆様や、本校内外でご支援してくださった方々に心から御礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス問題で終始しました。令和元年度の卒業式は、中止せざるを得ませんでした。この原稿執筆時点では、令和2年度の卒業式は、なんとか実施したいと考えております。卒業式では、保護者の皆様へのライブ配信など、コロナ感染防止のために、種々の工夫を考えています。

令和2年度の春学期は大半が遠隔授業となりました。本校では、全国高専の中ではトップクラスの早さで、4月20日から遠隔授業を全面的に実施しました。学生諸君には頑張って時間割通りの遠隔授業に参加していただきました。

また、全国高専の中ではトップクラスの早さで、6月8日に、対面授業を再開しています。授業再開には、感染症対策指針の作成をはじめ、教室の消毒、体調不良学生の公欠扱いや、欠席学生への遠隔授業配信など、新しい制度を作り感染予防を徹底しました。

このように、本校がコロナ禍に対して迅速に対応できたのも、学生の皆さんの協力はもちろんですが、関係教職員の献身的努力と、慣れない遠隔授業コンテンツ作成に協力していただいた皆様のおかげだと思っており、感謝申し上げます。

対面授業が始まった後も、コロナ禍に対応した4学期制授業カリキュラムの大幅改訂や寮運営を行いました。特に、部活などの課外活動は大幅な自粛をせざるを得ませんでした。本校は学生寮に多くの学生が生活しており、集団感染になる可能性があります。そのため青森県の高校等と比べ

ると厳しい制約となりました。高専体育大会をはじめ、多くの大会が中止または遠隔開催となりました。

しかし、校内球技大会や、皆さんの熱意で開催された「タモロック2020」は大いに盛り上がりました。

これからも、コロナ禍は続くと考えられます。皆さんが卒業・修了された後でも、リモートワークや大学の遠隔授業が続くでしょう。それらは、「ニューノーマル」として、新しい社会に定着するかもしれません。学生諸君は、本校で遠隔授業や各種感染予防を体験しているので、ニューノーマルな社会に十分適用できると考えています。

現在、本校は寮の新営改築に伴い色々な工事が行われています。令和2年度中に北辰寮E棟1階の改修が終わります。ここは教員室や寮事務室、留学生・寮生の交流スペースができる予定です。現在工事が行われている国際寮の新設は、令和3年度中に完了する予定です。

本校のこれまでの活動や国際化が認められて、令和3年度に新たな混住型国際寮が認められました。これは、N棟を解体して定員59名の国際寮を整備するものです。

これらが完成すると、本校には150名規模の個室とコモンルームをもつ新しい寮が完備することになります。つまり、約300名の寮生の半分が新しい寮で生活することになります。それに伴い、これまでの寮運営を見直して、新しい寮の体制に移行することを検討しています。

本校では、国際性をもったグローバルエンジニアとして皆さんに世界で活躍していただきたいと考えています。グローバル時代に対応した新しい高専生を育成するためにも、これらの国際寮は大きな起爆剤になることを期待しています。

最後に、これまでご支援頂いた保護者の皆様、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げますと共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

祝 辞

後援会長 蛭 名 輝 彦

卒業並びに修了を迎えられた皆様、誠におめでとうございます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発令され例年にない形で始まりました。学生の皆様におかれましては、初めてのオンライン授業で不安でいっぱいだったのではないのでしょうか。その後、緊急事態宣言解除後の6月からは、全てが元には戻らないものの、対面での授業が始まりました。

この大変な一年を無事過ごすことができ、この良き日を迎えることができたのは、校長先生をはじめ諸先生方、職員のみなさま、そして、長きに渡りサポートを行いこの日を誰よりも待ち望んでいた保護者の皆様に、厚く御礼申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

皆様のなかには、15歳という多感な時期に親元を離れ、とても不安で寂しい日々を過ごした方もいると思います。勇気を持って新しい環境へ飛び込んだ高専生活はいかがでしたか。今年は、残念ながらコロナ禍で、東北地区高専体育大会や校内体育大会、自主探究発表会などがいつも通り開催が出来なかった一年でしたが、一部感染防止対策等を行い球技大会やタモロック2020を開催出来たことは良かったと思います。それでも、今日までの高専で過ごした月日は、他の高校とは比べものにならないくらい充実した学生生活になったのではないのでしょうか。

今後皆様は、就職し新たな社会に飛び出す方、また、専攻科への進学、他の大学・大学院へ編入する方など、それぞれの道に進むことになると思います。皆様が今年度に経験した急なオンライン授業の様に、社会でもテレワーク化が広がり、今まで通りに仕事をするのではなく、その状況に合わせ臨機応変に対応していかななくてはならなくなりました。今まで必死で勉強したことや、部活動に全力で励んだこと、行事に一生懸命取り組んだこと等の高専生活での経験は、この社会に出た時

にきっと役に立つと思います。これだけの苦勞をして卒業した皆様は、自信を持って常に前を向き突き進んでいってください。

私も後援会役員として活動し、会長としても二年間在職しました。この一年は後援会活動計画を全て実行したかったのですが、このコロナ禍において中止せざるを得ないものが多く、力になれず申し訳ない気持ちでいっぱいです。特に、腰塚勇人先生の「命の授業」の講演は聴いて欲しかったと思います。元会長の勧めで、ある中学校で行われた「命の授業」を傍聴させてもらい、「人は支えられ・助けられ 今を生かされ生きている 誰も決して一人じゃない 命も人生も自分だけのものじゃない」というメッセージに心を打たれました。考え方は、人それぞれだと思いますが、日常の事が当たり前で感謝することを忘れていた自分にとって、どれだけ周りの人に助けられているかを考えさせられる内容でした。その「命の授業」を通して自分も行動を改め実行したい「5つの誓い」を皆さんに贈りたいと思います。

口は 人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう

目は 人のよいところを見るために使おう

耳は 人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう

手足は 人を助けるために使おう

心は 人の痛みがわかるために使おう

私はこの「5つの誓い」を実行出来るよう日々成果・反省を繰り返し、全てのものに感謝をしながら一笑懸命に今を生きることに取り組んでいます。皆様にも、自分を支えてくれる身近な人たちに感謝し、人に優しくする事ができる人間になって欲しいと思います。

最後になりますが、皆様には、今までサポートしてくれた家族に、感謝の気持ちを伝え、社会に飛び立ち、今後の自分の人生を謳歌してください。

八戸高専の更なる発展と皆様のご活躍を心からご祈念申し上げます。

本科生 祝・卒業

産業システム工学科 機械システムデザインコース

卒業おめでとうございます

機械システムデザインコース長 村山 和裕

ご卒業おめでとうございます。今年度はコロナ禍に見舞われて、皆さんも大変苦勞されたことと思います。また、各種行事や大会等が中止になって、寂しい思いも味わわれたことでしょう。私たちも最終学年となった皆さんの躍動する姿を見ることができなくなって、大変残念でした。

4月からは新しい生活が始まるわけですが、テレワークやオンライン授業など、不便な生活も強いられるかも知れません。それでも、いつかきっとコロナ禍が終息する日が来ることを信じて、自分を磨く努力を怠らないようにして下さい。

皆さんのご活躍を期待しています。

祝 辞

機械システムデザインコース5学年担任 黒沢 忠輝

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。またこれまで立派にご子息を育ててこられた保護者の皆様におかれましては心よりお祝いを申し上げます。皆さんは高専生活最後の年をコロナの厄災によって行事や部活動を制限されるとともに、自粛ムードの生活を強いられて大変だったと思いますが、この高専生活でたくさんの人と出会ったことを生涯大事にして下さい。これからそれぞれの新しいステージに進みますが、人類はこれまでも自然災害や疫病の脅威に立ち向かってきましたし、皆さんにも無限の可能性を持っています。心身ともに健康であることに留意し、夢に向かって元気に羽ばたいてください。

卒業を迎えて

機械システムデザインコース5年 南館 拓実
(八戸市立第一中学校出身)

私たちが入学してから早5年、高専の全課程を修了し卒業を迎えられることとなりました。思えばこの5年間は楽しいことよりも辛いことの方が多かったように思えます。年々専門科目の難易度は上がり、移り変わる自主探究のシステムにも翻弄され、最後の最後までCADの課題に打ちのめされました。極めつけは新型コロナウイルスによる影響で高専での最後の行事を奪われたことです。

それでも苦難を乗り越え、楽しい時間を過ごせたのはクラスメイトたちのおかげです。卒業し、別々の道を歩んでいくとしても私たちはこのかけがえのない日々を忘れることはないでしょう。この学校で出会えたすべての方々に感謝します。

産業システム工学科 電気情報工学コース

健やかで楽しく

電気情報工学コース長 熊谷 雅美

卒業おめでとうございます。君たちはコロナ禍の真っ只中、新しい道へと進むこととなりました。このような状況だからとばかりする必要はありません。いろいろな制限は課されるかもしれませんが、このような特殊な状況だからこそ積極的にできること、やっておくべきことがあると思います。大きな人生の節目で、いろいろわからないこと、悩むことなどあると思いますが、これらが人生の本番です。悔いを残さぬよう、仕事も、そして趣味も精一杯楽しんでください。

最も重要なことは、心身ともに健康であることです。それさえ、理解できていれば大丈夫。君たちの人生に幸あれ！

ご健闘をお祈り申し上げます

電気情報工学コース5学年担任 釜谷 博行

ご卒業おめでとうございます。今年は、遠隔授業に始まり、高専大会や高専祭などのイベントの中止など、これまで経験したことのない大変な年になりました。皆さんはこの状況をしっかりと受け止めて、冷静に行動してくれました。一年間担任をしてみて、個性豊かな学生も少なからずおりましたが、全体的にまとまりのあるクラスだったと思います。卒業後も絆を大切にしていって下さい。また、これからも学ぶべきことはたくさんあります。謙虚で素直な気持ちを持ち、自分自身をさらに高めていって下さい。最後になりますが、今後はご健康にも留意され、これまで得た知識・技術を存分に生かし、ポストコロナそして脱炭素社会の新たな時代に向かってご活躍されることを祈念いたします。

門出に際して

電気情報工学コース5年 沼沢 貴大
(八戸市立白山台中学校出身)

無事に卒業を迎えることができたいま、この5年間は自分の人生にとって多くのことを学ぶことができた期間であると実感しています。

特に、学業や行事に対するクラスメイトの姿勢から、どんな場面でも全力で行うことや自ら行動して目標を達成することの大切さを学ぶことができました。この経験は今後の人生の活力になると確信しております。

これまで共に同じ時を過ごした仲間への感謝を申し上げますと共に、これからのご健勝とご多幸を心から願っております。

また、授業や研究活動などでご指導して下さいました先生方を始め、僕たちを支えて下さった多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

本科生 祝・卒業

産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース

ご卒業おめでとうございます

マテリアル・バイオ工学コース長 齊藤 貴之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

今年度は、コロナ禍で学校生活や就職・進学活動に制限があり、大変苦勞したと思います。本来なら5年間を思い起こすところですが、最後の1年間の高専生活が強く残るのではないのでしょうか。皆さんは、いつも元気な印象が強いです。コロナ禍に限らず、先が読めない時代ですが、持ち前の元気で乗り切って欲しいです。心身共に疲れたらゆっくり休むなど健康にも留意して、長い人生を楽しんでください。

卒業後、皆さんが元気で活躍する姿を見たり、話を聞いたりすることを楽しみにしています。

挑戦を楽しんで ～卒業おめでとう～

マテリアル・バイオ工学コース5学年担任 本間 哲雄

保護者の皆様、これまでにご子息・ご息女を立派に育てられ、心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、楽しい1年をありがとう。不安が見え隠れる始業式から、社会情勢に負けない強さ、他人への気遣いができる大人に成長できたと思います。5年前の高専への挑戦から、自分の想像を超えて成長しましたね。学校を卒業したから成長が終わるのではなく、また新しい挑戦があると思います。そして、年を重ねても新しい物事に挑戦し、学びを得て経験を重ねれば、いつまでも成長して充実した日々が送れるのかな？と思っています。卒業生たちの輝かしい未来に期待しています。卒業おめでとうございます。

卒業を迎えて

マテリアル・バイオ工学コース5年 田端 彩美
(野辺地町立野辺地中学校出身)

高専生活最後の1年はコロナ禍で遠隔授業になったり、体育祭や高専大会などの行事が次々と中止となるなど特殊な年でした。例年通りに行事を楽しむことはできませんでしたが、遠隔授業期間中の担任の本間先生からの今できることを考えて楽しもうという言葉通り、リモートでの新入生歓迎会の開催など新しい方法を見つけて最後の1年間をクラス全員で楽しむことができたと思います。

5年間、どんなことがあっても支えてくださった両親、先生方、友達、先輩、後輩たちには感謝の気持ちでいっぱいです。5年間このクラスで、この学年で過ごせてとても楽しかったです。これから、それぞれの道でがんばりましょう。

産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース

卒業、おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース長 藤原 広和

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、ならびに保護者、ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。今振り返れば、あつという間の5年間だったのではないのでしょうか。近年は地震、洪水、津波など、日本も大きな災害に見舞われています。人命、財産を守ることは土木・建築技術者の重要な使命です。我々が仕事をするときに大切なことは、設計ミス、施工ミス、計算ミスをしないことはもちろんですが、それだけではありません。新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度、そして自己の向上を継続することです。八戸高専卒業生としての皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

ご卒業おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース5学年担任 杉田 尚男

社会人になれば、自分の考えを持って選択することができる自由を得られ、いっぽうで、思い通りにならない不自由さと閉塞を感じるようになるでしょう。楽しいこと、嬉しいことがたくさんあるのが社会であれば、同時に、辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。皆さんには、大きな大きな夢を持って、自分を信じて生きていってほしいと強く思います。何も心配はいりません。皆さんには本校で過ごした5年という何にも代えがたい事実があります。曇りのない眼でまっすぐ進み、希望に胸を躍らせる、そんな大人になってください。卒業生の皆さんに、心からの祝福を贈り、そして、輝く光が未来を照らし続けることを確信しております。ご卒業おめでとうございます。

高専生活

環境都市・建築デザインコース5年 泉田 真
(青森市立浦町中学校出身)

ずっと続くような気さえしていた高専生活が終わりを迎えます。早く卒業したいとばかり思っていました、今はなんだか寂しいです。辛かったはずの到達度試験や実験レポート、さらには数々の別れ、挫折すらも今となっては良い思い出と割り切れます。

本日、仲良しZ5メンバーで晴れて卒業を迎えることを嬉しく感じると同時に、私たちを支えて導いてくださった恩師の杉田先生はじめ諸先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、私と仲良くしてくれてありがとう。みんなに会えて良かったと心から思います。人生の少し先輩として、これからのみんなのご活躍をお祈りします。

令和2年度 卒業生・修了生の進路状況

今年度の本科卒業予定者および専攻科修了予定者の進路状況を下表に示します。また、具体的な就職先、進学先については次ページの表のとおりです。

本科卒業予定者は151名であり、卒業予定者の40%（昨年度35%）に相当する61名（昨年度52名）が進学、85名（昨年度95名）が就職です。専攻科 修了予定者は31名であり、修了予定者の52%（昨年29%）に相当する16名（昨年度8名）が大学院に進学し、14名（昨年度18名）が就職します。本科、専攻科ともに昨年度に比べて進学者の割合が増加しました。

本科生に対する求人数は2,653件（昨年度2,846件）、同じく専攻科では2,394件（昨年度2,564件）と、高い水準で推移しています。これは近年の人手不足を反映したもので、コロナ禍にもかかわらず、売り手市場傾向が続いていることが伺われます。企業の採用担当者からは、高専卒業生は能力が高いので、ぜひ八戸高専から採用したいという声を多数いただいております、今後も高い求人数が維持されるものと思われます。

本科の進学先で最も多いのは例年通り本校専攻科で19名（昨年度23名）となりました。専攻科を選択した主な理由は、難関大学大学院への進学に有利であることや、本科で取り組んできた研究テーマの継続、海外留学の機会、そして国立大学と比較して学費が安いことなどが挙げられます。

専攻科の進学先では、東北大学大学院が9名（昨年度4名）と最も多くなっています。最近の傾向として、難関大学大学院も本校専攻科からの進学を歓迎しているようです。

さて、進路を選択するうえで重要なことは、本人の構えです。例えば、10年後の自分の姿を想像してみてください。職場の責任ある立場で活躍して社会に貢献している自分、国外で活躍している

自分、将来の自分を変えるのは間違いなく現在の自分です。まず、この10年をどう進むべきかよく自己分析してください。そのうえで必要な進路を自分で選択し、決定してください。そのために役立つのはインターンシップや大学や企業等の説明会のはずですが、コロナ禍で実地形式や対面形式での実施が困難となっている以上、オンラインでのインターンシップや説明会等の案内を探して自分から積極的に参加していくことが望まれます。

多くの企業・機関が学生に求める資質は、最重要視されるコミュニケーション能力のほか、主体性、実行力、課題設定・問題解決能力、創造力などです。これらの能力は、エントリーシートや適性検査、面接等で試されます。本校は求人数が多く、簡単に内定をいただけるように思われるかもしれませんが、企業の選考は意外に厳しいところもあります。能力があるのに準備不足で第一志望に合格できない場合もあります。日頃から自己啓発を行うとともに、選考試験までに余裕をもって十分な対策をたてておくことが重要です。

また、青森県内にも数多くの優れた企業があります。秋に開催されるあおもり県内企業内容説明会や県内企業見学ツアー、3月の本校の企業内容説明会などの機会を利用して企業研究に努めてください。

本校では平成30年度よりキャリア教育・支援センターが開設され、低学年からのキャリア教育をより一層充実させております。もし、進路について疑問等があったら、担任、コース長、進学相談担当教員等に早めに相談してください。さらに毎年発行している就職・進学ガイドブックも活用してください。先輩方のアドバイスはきっと参考になると思います。

進路支援等委員長

村山 和裕（産業システム工学科長）

令和3年2月28日現在

本 科	卒業予定者			進学者 (大学・専攻科)			就職者			その他			求人数 人	求人 倍率 倍
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機械システムデザインコース	40	3	43	14	1	15	25	1	26	1	1	2	761	29.3
電気情報工学コース	32	6	38	16	1	17	14	5	19	2	0	2	796	41.9
マテリアル・バイオ工学コース	18	16	34	11	8	19	7	8	15	0	0	0	528	35.2
環境都市・建築デザインコース	19	17	36	7	3	10	11	14	25	1	0	1	568	22.7
計	109	42	151	48	13	61	57	28	85	4	1	5	2,653	31.2

専 攻 科	修了予定者			大学院進学者 ※予定者を含む			就職者			その他			求人数 人	求人 倍率 倍
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機械システムデザインコース	9	0	9	2	0	2	7	0	7	0	0	0	681	97.3
電気情報システム工学コース	7	0	7	4	0	4	2	0	2	1	0	1	715	357.5
マテリアル・バイオ工学コース	8	2	10	7	1	8	1	1	2	0	0	0	477	238.5
環境都市・建築デザインコース	5	0	5	2	0	2	3	0	3	0	0	0	521	173.7
計	29	2	31	15	1	16	13	1	14	1	0	1	2,394	171.0

令和2年度 就職先・進学先一覧

令和3年2月28日現在

【就職－本科】

就 職 先	M	E	C	Z	計
青森県				1	1
株式会社A X S E E D	1				1
旭化成株式会社		1	1		2
出光興産株式会社千葉事業所			1		1
出光興産株式会社北海道製油所			1		1
エイコウコンサルタンツ株式会社				1	1
エイト技術株式会社				1	1
株式会社 NAT		1			1
NTT インフラネット株式会社	1				1
NTT 東日本グループ会社〈エンジニア〉		2			2
E N E O S 株式会社		1			1
E N E O S 株式会社中央技術研究所			1		1
株式会社大泉製作所			1		1
株式会社クボタ	1				1
黒石市				1	1
株式会社 K S F		1			1
K B E 株式会社				1	1
建装工業株式会社				1	1
高周波鑄造株式会社	1				1
株式会社鴻池組				1	1
国土交通省東北地方整備局				2	2
サクサシステムエンジニアリング株式会社		1			1
三洋化成工業株式会社			1		1
J R 東日本コンサルタンツ株式会社				1	1
株式会社シマノ	1				1
株式会社 S U B A R U	1				1
S U B A R U テクノ株式会社	1				1
星光PMC株式会社			1		1
Sola 株式会社		1			1
SOLIZE Engineering株式会社	1				1
第一三共プロファーマ株式会社			1		1
株式会社タマディック	1				1
中発テクノ株式会社	1				1
東亜石油株式会社			1		1
東海旅客鉄道株式会社	1			1	2
東京ガス株式会社				2	2
東京ガスパイプネットワーク株式会社	1				1
東京水道株式会社	1			2	3
東京電力ホールディングス株式会社				1	1
東京都下水道サービス株式会社			1		1
東洋インキSCホールディングス株式会社			1		1
ニチレキ株式会社	1				1
二戸市				1	1
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	1				1
日本原燃株式会社	3	1	2		6
階上町				1	1
長谷川体育施設株式会社				1	1
八戸鉱山株式会社				1	1
八戸市				1	1
八戸製錬株式会社			1		1
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社		1			1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
ファナック株式会社	2				2
株式会社 F I X E R		1			1
フードテクノエンジニアリング株式会社	1				1
株式会社富士テクノソリューションズ	1				1
富士フィルムメディカル株式会社	1	1			2
株式会社プロ・フィールド				1	1

就 職 先	M	E	C	Z	計
株式会社マイスターエンジニアリング	2				2
株式会社三井化学分析センター			1		1
三井住友建設株式会社	1			1	2
三菱電機システムサービス株式会社		1			1
株式会社ミライト・テクノロジーズ		1			1
メタウォーター株式会社		1			1
株式会社メンバーズ		3			3
株式会社USEN-NEXT-HOLDINGS		1			1
若築建設株式会社				1	1

【進学－本科】

進 学 先	M	E	C	Z	計
[大 学]					
秋田大学	2	2			4
岩手大学	2	2		4	8
宇都宮大学		1	2	1	4
大阪芸術大学	1				1
大阪大学			1		1
金沢大学		1			1
信州大学	2		1		3
東京農工大学		1	1		2
豊橋技術科学大学		1	2	2	5
長岡技術科学大学		2	2		4
八戸工業大学		1			1
姫路獨協大学			1		1
弘前大学	1				1
三重大学				1	1
室蘭工業大学	1	1			2
山形大学			1		1
山梨大学				1	1
[専攻科]					
八戸高専専攻科	6	5	7	1	19
函館高専専攻科			1		1

【就職－専攻科】

就 職 先	AM	AE	AC	AZ	計
株式会社 I G A メックス	1				1
朝日インテック株式会社	1				1
キヤノンアネルバ株式会社		1			1
株式会社鴻池組				1	1
C O M 電子開発株式会社		1			1
大日精化工業株式会社			1		1
株式会社高橋製作所	1				1
中外製薬工業株式会社	1				1
東亜建設工業株式会社				1	1
豊田鉄工株式会社	1				1
株式会社日本マイクロニクス			1		1
富士電機津軽セミコンダクタ株式会社	1				1
三菱製紙株式会社八戸工場	1				1
株式会社横河ブリッジホールディングス				1	1

【進学－専攻科】

進 学 先	AM	AE	AC	AZ	計
[大学院]					
宇都宮大学大学院			1		1
千葉大学大学院	1				1
筑波大学大学院			1		1
東京工業大学大学院			1		1
東北大学大学院	1	4	3	1	9
北海道大学大学院			2	1	3

卒業研究テーマ一覧表

【機械システムデザインコース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
石 橋 輝	サウナ室内部の伝熱特性の解析的評価	古川 琢磨
蛭 澤 果 生	機械要素の使い方を学べる教材の試作（歯付ベルト等を用いた教材）	村山 和裕
追 切 太 陽	レイノルズ数の違いが血流下の血中循環腫瘍細胞(CTC)の運動に及ぼす影響	森 大祐
逢 坂 悠 樹	レイノルズ数の違いが血流下の血中循環腫瘍細胞(CTC)の運動に及ぼす影響	森 大祐
大久保 嵩 世	難削性核燃料模擬デブリの開発（炭化ボロンガラスコート法の検討）	古谷 一幸
小 川 大 智	筋肉縮定量評価装置の開発	黒沢 忠輝
金 濱 優太郎	シャシローラ用自動制動装置の開発	村山 和裕
川 村 祐 希	バイメタルを用いた癌温熱治療装置の開発	井関 祐也
木 村 優 斗	血中循環腫瘍細胞(CTC)の変形能を考慮した血流下における運動の解析	森 大祐
榊 太 一	校内で行うSLAMの開発	郭 福会
沢 口 秀 太	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（有限要素法による電位場解析）	武尾 文雄
鈴 木 颯 太	難削性核燃料模擬デブリの開発（圧粉体焼結手法の検討）	古谷 一幸
関 琢 朗	機械要素の使い方を学べる教材の試作（平ベルト等を用いた教材）	村山 和裕
高 木 松 誠	マッハ・ツェンダー光干渉計を用いた矩形キャビティ内部の自然対流境界層の可視化計測	古川 琢磨
田 中 菜 月	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（一様減肉評価手法適用の試み）	武尾 文雄
長 澤 正 聖	筋肉縮定量評価装置の開発	黒沢 忠輝
永 澤 瑠	ドリル加工における超音波振動援用によるバリ抑制メカニズムに関する研究	田口 恭輔
鍋 西 陸	レーザー出力の正弦波化による加熱領域制御の実験的評価	古川 琢磨
浪 打 啓 太	癌温熱治療のための矩形型空洞共振器加温装置の作成	井関 祐也
野 田 裕 太	難削性核燃料模擬デブリの開発（圧粉体焼結手法の検討）	古谷 一幸
原 颯 杜	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢 忠輝
松 本 凌 凱	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（有限要素法による電位場解析）	武尾 文雄
三 浦 雄 斗	押し込み試験によるヤング率測定 Hertz 接触理論	井関 祐也
水 口 広 太	共振現象を利用した超高サイクル疲労試験装置の試作（板状試験片の場合）	武尾 文雄
水 梨 椋 太	蛇型ロボットの製作	郭 福会
南 館 拓 実	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢 忠輝
柳 沢 啓 斗	ディープラーニングによるセグメンテーションを応用した全自動非侵襲温度計測システムの開発	井関 祐也
吉 田 捷 斗	機械要素の使い方を学べる教材の試作（共振を学べる教材）	村山 和裕
蔵 遙 希	レーザー出力の正弦波化による加熱領域制御の数値解析的評価	古川 琢磨
安ヶ平 海	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（一様減肉評価手法適用の試み）	武尾 文雄
石 岡 心	ウィリス動脈輪の形態学的変化と脳動脈瘤による壁せん断応力の変化	森 大祐
井 筒 将 大	ドリル加工における超音波振動援用によるバリ抑制メカニズムに関する研究	田口 恭輔
大 坂 奈菜穂	ヒートショック予防を目的としたサウナ内部における体内人体モデルの熱的評価	古川 琢磨
小 川 泰 青	姿勢反射障害評価装置の開発	黒沢 忠輝
小 山 溪 人	六足歩行ロボットの製作	郭 福会
掛 端 柊 太	四足歩行ロボットの製作	郭 福会
嵯 峨 駿 佑	交通事故時における脳損傷メカニズムの解明	井関 祐也
小豆嶋 隼 崇	つま先に関節を搭載した二足歩行ロボットの製作	郭 福会
長 畑 慶 彦	超音波振動援用多段速度加工による高効率バリ抑制加工に関する研究	田口 恭輔
林 大 成	超音波振動を援用した内面テクスチャ加工装置の開発	田口 恭輔
松 橋 和	超音波振動援用多段速度加工による高効率バリ抑制加工に関する研究	田口 恭輔
森 田 将 希	難削性核燃料模擬デブリの開発（炭化ボロンガラスコート法の検討）	古谷 一幸

【電気情報工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
五十嵐 爽 斗	磁界共振結合を用いた移動体への非接触給電に関する検討	佐々木修平
石 川 大 世	インバータ回路を用いた実験教材に関する研究	熊谷 雅美
伊 藤 優 仁	微分方程式の近似解法と誤差の影響 -電子回路による解法-	中ノ 勇人
上 柿 聖	実用化に向けた皮膚ガン診断システムの構築	野中 崇
蛭 名 恭 久	擬火花放電プラズマCVD法における成膜条件の最適化 -基板電流制限用抵抗および陽極-ホルダー間距離の検証-	鎌田 貴晴
岡 田 亘 司	光学測定用波長可変光源の開発	熊谷 雅美
小子内 行 羅	熱CVD法による大面積単結晶六方晶窒化ホウ素(h-BN)の作成法の検討	中村 嘉孝
神 林 なつみ	フラレン分子モデルにおける構造の規則性に関する研究	松橋 信明
木 村 和 暉	CVD法における大面積かつ単結晶のグラフェン合成に関する検討	中村 嘉孝
木 村 太 耀	パワーエレクトロニクスデバイスに関する実験教材の提案と構築	熊谷 雅美
小 林 玲央奈	低圧・低流量下における水素誘導結合プラズマのモード遷移条件の調査	鎌田 貴晴
佐 藤 大 地	モバイルバッテリーによる無線電力伝送システムの開発	野中 崇
中 島 祥 弥	超電導技術を用いた長距離ワイヤレス電力伝送に関する検討	佐々木修平
中 村 柊 介	タングステン化合物の物性に関する研究	松橋 信明
山 崎 葵 生	熱CVD法を用いたMoS ₂ 薄膜の最適作製条件の検討	中村 嘉孝
吉 田 奨	擬火花放電プラズマのホール陰極内径の最適化	鎌田 貴晴
若 本 明日香	ゴム状高分子の熱含量分析に関する研究	松橋 信明
ト ュ グ ス ー	IGBTを用いた実験教材に関する研究	熊谷 雅美
栗 津 翔 太	Visual Basicを用いたパワーエレクトロニクスデバイスの自動計測	熊谷 雅美
伊 藤 瑠 威	5Gの通信システム理解のための教育用プラットフォームの構築	工藤 憲昌
上 野 陸 斗	発達障がい児向け仮想書写学習支援システムにおける筆型デバイスの角度位置推定に関する研究	細川 靖
大 澤 士 竜	6脚ロボットの歩行動作獲得における深層強化学習のパラメータ調整	釜谷 博行
小 川 真 世	Prometheusを利用したネットワークセキュリティ演習支援環境の検討	佐藤 健
小 倉 直 弥	給水所開設情報のオープンデータ化と可視化に関する研究	細川 靖
北 山 歩 美	画像処理によるSTLファイル出力ソフトウェアの開発	松橋 信明
沢 井 一 将	LabVIEWとProcessingを用いた皮膚がん診断システムのUI試作に関する研究	細川 靖
沢 口 龍 斗	仮想海女モデルモーションにおけるトラッキングセンサの無線化に関する研究	細川 靖
四 戸 理 仁	Google Cardboardによる分子構造学習教材の開発	松橋 信明
高 坂 純 哉	微分方程式の近似解法と誤差の影響 -Deep Learningによる解法-	中ノ 勇人
武 田 拓 実	face-api.jsを使用した表情に合わせて広告を表示するWebサイトの開発	釜谷 博行
田 村 公 季	Webカメラを用いた指文字認識に関する研究	釜谷 博行
成 田 牧 穂	ブロックチェーン技術を用いたログ管理に関する研究	佐藤 健
西 村 碧 唯	マーカーレスARを利用した電磁界分布の表示法に関する研究	佐藤 健
沼 沢 貴 大	深度情報を併用した顔検出精度向上の検討	工藤 憲昌
松 長 剛 大	特徴点等の応用による高精度標識検出方法の検討	工藤 憲昌
向谷地 孝一朗	ワイヤレス電力伝送における生体吸収エネルギーの周波数特性の評価	野中 崇
山 地 龍 生	深層学習を用いたゆるキャラ画像の自動生成に関する研究	釜谷 博行
長 内 広 夢	大気圧プラズマによるトマトの滅菌	鎌田 貴晴

【マテリアル・バイオ工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
岩 館 里緒菜	ナノチタニアを用いたH2Ti12O25の合成	長谷川 章
漆 館 郁 圭	ポリマーアロイを用いたTiO2含有P3HT粒子の光触媒活性の評価	福松 嵩博
大 越 壮 樹	MSAPによる微細銅回路の形成	松本 克才
柴 田 響 一	熔融金属中介在物の気泡付着除去挙動	新井 宏忠
関 翔 星	m-フェニレンイミンオリゴマーの熱刺激による鎖-環相互変換機構の解析	菊地 康昭
田 端 彩 美	ニルフェノール除去機能を有する高分子膜の開発	菊地 康昭
田 村 千 晴	ポリオキサゾリンテレケリックスをグラフトさせたPVCによる抗菌性有機無機複合体の調製	佐藤久美子
中 野 彩 花	Cu配線向けノンシアン無電解Auめっきプロセス	松本 克才
中 村 弥太郎	塩化ナトリウム水溶液中におけるAl-CuおよびAl-Snのガルバニック腐食	松本 克才
奈 良 立 大	アーク放電によるガラス基板へのDLCコーティング法の開発	齊藤 貴之
栖 山 真 叶	塩化第二銅溶液による銅のエッチングに対する添加剤の効果	松本 克才
成 田 駿	熔融金属中介在物の異相凝集挙動	新井 宏忠
端 本 皐	ポリオキサゾリンテレケリックスによる銅表面の親水性向上	佐藤久美子
藤 田 唯 斗	ゾル-ゲル法によるLi過剰Li4+xTi5O12の合成と電極特性	門磨 義浩
町 井 達 也	水産物の干物加工における耐塩性ヒスタミン産生菌の影響	川口 恵未
三 浦 尚 也	Molecular dynamics simulation of the structural analysis of borosilicate glasses	本間 哲雄
森 海 斗	ガス攪拌槽における液液界面の物質移動特性	新井 宏忠
谷 地 朝 伎	マンガン-チタン系酸化物の合成と組成の電極特性への影響	門磨 義浩
渡 邊 七 海	モノオキサゾリンテレケリックスをグラフトさせたPVCによる抗菌性有機無機複合体の調製	佐藤久美子
ト ユ イ	アーク放電によるナノクリスタルダイヤモンド合成法の開発	齊藤 貴之
蛭 名 優 花	ハチ高専由来放線菌の抗菌性物質の特性評価	川口 恵未
角 浜 真 優	ナノチタニアを用いた逆シフト反応触媒の調製とその特性化	長谷川 章
神 山 瑠 世	リチウムイオン二次電池用電極におけるバインダー添加効果	門磨 義浩
木 村 優 繁	ナノチタニアを用いたチタン酸リチウムの合成およびその電極特性	長谷川 章
久 保 未 来	P3HT粒子作成のための最適な遠心分離法の評価	福松 嵩博
下 沢 舞 優	Screening of metal oxide catalysts on decomposition of dibutyl phosphate in high temperature and high pressure water	本間 哲雄
田 口 翔 大	発酵食品が干物加工品の呈味およびヒスタミン産生へ及ぼす影響	川口 恵未
竹ヶ原 陽 斗	Evaluation of cytotoxicity and genotoxicity of marine organism extracts	山本 歩
千 葉 史 瑛	Kinetics of coexisting ions and pH on the decomposition of dibutyl phosphate in high-pressure and high-temperature water	本間 哲雄
原 田 千 愛	アーク放電による樹脂へのDLCコーティング法の開発	齊藤 貴之
船 渡 遼 平	Wine-brewing properties of Tsubakiyama yeast, <i>Saccharomyces cerevisiae</i> , isolated from camellia	山本 歩
松 川 和 磨	アーク放電によるボロンドープダイヤモンドの合成法の開発	齊藤 貴之
三 浦 菜々美	Protective effect of blackcurrant extract against UV-induced cell damage	山本 歩
山 田 奈 実	PVPを用いたP3HT結晶粒子の構造の検討	福松 嵩博

【環境都市・建築デザインコース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
泉 田 真	画像処理を用いた耐候性鋼材のさび評価	杉田 尚男
関 下 凜太郎	機械学習を用いた耐候性鋼材のさび外観評価モデルの開発	杉田 尚男
小笠原 萌 花	千葉県東方沖地震における周期特性及び方向性の検討	杉田 尚男
畑 中 祐 香	千葉県東方沖地震における方向性の検討	杉田 尚男
柳 谷 樹	千葉県東方沖地震における地震動周期帯の検討	杉田 尚男
田 村 滯	抗生物質耐性大腸菌に感染する大腸菌ファージの実態調査と、その大腸菌ファージを用いた抗生物質耐性大腸菌の除去方法の検討	李 善太
藤 原 光 李	抗生物質耐性大腸菌の実態調査	李 善太
山 道 友 喜	八戸市における賃貸住宅の空き家の発生要因の分析と空き家抽出手法適正評価	金 善旭
岩 間 美 空	物件属性及び所有者特性に着目した八戸市における賃貸住宅の空き家に関する研究	金 善旭
鳳 至 英 真	地域型住宅から見る県内の住宅生産体制の特徴	金 善旭
松 本 純 佳	青森県3都市の建売住宅から見た住宅生産の特徴	金 善旭
石ヶ森 咲 良	内外観の変化を伴わず用途を変更できる建物の概要と平面特性	金 善旭
羽 田 直 央	北辰寮における騒音問題の現状と対策	金 善旭
栗 橋 芳 佳	大館中学校の経年劣化した金属屋根の耐風性能評価に関する研究～2020年3月20日の八戸市の強風被害調査～	今野 大輔
畑 中 惇 介	風洞実験に基づく切妻屋根軒先部に作用する風圧力に関する研究 Study on wind pressure acting on the gable roof eaves based on windtunnel experiments	今野 大輔
増 田 佳乃子	強風による垂木・軒桁接合部の破損リスク評価に関する研究 Wind-damage risk evaluation of rafter to pole plate connections	今野 大輔
木 村 杏 菜 坂 本 桃 香	飲料水中に存在している細菌群に関する研究	矢口 淳一
櫻 井 温 斗	遺伝子マーカーを用いた八戸周辺河川における糞便汚染の解析	矢口 淳一
下屋敷 豊	メタン発酵槽内の生理的活性のある細菌群に関する研究	矢口 淳一
宮 珠 莉	八戸周辺河川における糞便汚染に関する研究	矢口 淳一
工 藤 大 明	野田村における地域の意識化と地域キャリア教育のための教材開発	河村 信治
森 田 菜々子	みちのく潮風トレイルの自然的環境と、トレイルの運営・活用に係わる「公-共-私」の構図についての研究 A study on the natural landscape and composition of trail managementon Michinoku Coastal Trail	河村 信治
長 内 悠 真	八戸港の港内・航路埋没に対する恒久的対策について Permanent countermeasures against the shoaling for harbor and channel in Hachinohe Port	南 將人
長 畑 冴	木質バイオマスの十和田市における利活用について Utilization of woody biomass in Towada city	南 將人
赤 坂 翼	ゼオライト混合率の高いセメント固化体のフレッシュ性状の改善と強度発現特性 A Study on Improvement of Flesh Properties and Strength Developments of Cement Solidification with High Zeolite Mixing	庭瀬 一仁
剣 吉 辰 哉	CSH系早強剤を混合したLPC-FA系コンクリートの初期強度改善に関する基礎研究 Improvement of Initial Strength of LPC-FA Concrete by Combined Use of C-S-H-type Accelerator	庭瀬 一仁
秋 山 慎之介	非定常空気力係数分析による渦励振応答振幅の予測	丸岡 晃
小笠原 悠 人	津軽海峡における潮流発電の可能性について	丸岡 晃
佐々木 駿	小型GNSSモジュールZED-F9Pを用いたRTK測定の精度評価	藤原 広和
大 西 亮	新井田川における洪水流の挙動の検討 Examination of flood flow behavior in Niida River	藤原 広和
佐々木 里 佳	小川原湖の水質・底質環境がヤマトシジミに及ぼす影響について	藤原 広和
石 田 嶺 峰	浄化材による水質・底質改善効果とヤマトシジミへの影響について	藤原 広和
宮 内 亘 紀	しらす粗粒土へのベントナイト充填と浸透抑制効果 Bentonite packing and infiltration control effect to coarse grained Shirasu soil	清原 雄康
田 口 颯 太	飽和砂の振動台実験時におけるエネルギーの消散と液状化挙動の関係 Relation between dissipation energy and liquefaction behavior on saturated sand at shaking table test	清原 雄康
長 内 涼 花	繰返し一面せん断試験装置によるしらす土粒子摩耗量の定量的評価と液状化に及ぼす影響	清原 雄康

専攻科修了おめでとうございます

専攻科長 丸岡 晃

専攻科修了おめでとうございます。7年間の八戸高専で様々な経験があったかと思います。楽しいことばかりではなく、厳しく辛いこともあったかもしれません。特に最後の1年はコロナ禍により前例のない年になりました。コロナ禍による異例のことを含め、これら一つ一つの経験が皆さんの糧になったはずです。皆さんがこれから歩いていく道、ウィズ・アフターコロナ時代では、今までの「当たり前」は通じず、様々な変革が求められています。しかしながら、皆さんがこの7年間に培ってきた、課題設定・解決ができる高度な実践的・創造的技術者としての能力は、このような変革に順応でき、さらに、変革をもたらす力にもなっているはずと信じています。

最後に、保護者の皆様の御支援に感謝すると共に、皆さんのさらなる御活躍と御健勝を心から祈念して、お祝いに代えさせていただきます。

専攻科を修了して

産業システム工学専攻 環境都市・建築デザインコース2年 川守田 祥吾

将来について漠然としか考えていなかった私が、今では複数の選択肢が見えてきて、ありがたいことに悩むことのできる環境にいます。専攻科では、本科で学んだ専門知識を基に、フランスへの留学や国際会議を通して、視野を広げ、積極性やプレゼン能力を伸ばすことができたと思います。また、学業だけでなく、多くの方々との交流の機会をいただきました。これらの経験は、大学院進学以降も私の助けになってくれると確信しています。

7年にもわたりご指導いただいた先生方、常にサポートをして下さった高専関係者各位、私たちを日々支えて下さる保護者の皆様、専攻科を代表して深く御礼申し上げます。並びに、人間性においても成長させて下さった庭瀬先生、研究室メンバー、7年間に共に過ごした専攻科生に感謝申し上げます。まだまだ未熟ではありますが、社会に貢献できる技術者になれるよう邁進して参ります。

専攻科特別研究発表会表彰者

最優秀賞

高専での研究活動を通して

産業システム工学専攻 電気情報システム工学コース2年 尾崎 大地

この度は、専攻科特別研究発表会におきまして最優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。このような賞を頂けたのも、釜谷先生をはじめとして、ご指導いただいた先生方、ご協力してくださった関係者の皆様のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今思うと3年間の研究活動は、あっという間の日々でした。最初は、無知の状態から研究がスタートし、正直何から手を付ければいいのか全く分かりませんでした。しかし、私に根気強く指導してくれた釜谷先生と卒業した先輩のおかげで、このような輝かしい賞を頂ける研究にまで発展させることができました。今後は、就職先でもより一層輝くために、高専で得られた知識と経験を活かし、視野の広い技術者を目指して日々邁進してまいりたいと思います。

優秀賞

研究活動を通して

産業システム工学専攻 機械システムデザインコース2年 西舘 嗣海

この度は、専攻科特別研究発表会におきまして優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。このような輝かしい賞を頂くことができ、非常にうれしく思います。ご指導いただいた井関先生をはじめ、ご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

医工学分野での研究を行う中で、様々な分野の専門知識に触れることができました。大学院でも新たな医療機器開発の研究に携わるため、医工学を専攻しました。これまでの4年間の研究活動で得た経験を生かして、大学院でも日々精進してまいりたいと思います。

優秀賞

研究活動を通じての成長

産業システム工学専攻 マテリアル・バイオ工学コース2年 横浜 希

この度は、専攻科特別研究発表会におきまして優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。本科の卒業研究発表会で最優秀賞を頂いたときから、専攻科特別研究発表会で賞を取ることが目標でした。そのため、今回の受賞をとっても嬉しく思います。現在の研究は自主探究から始めた口腔内細菌に関する内容で、6年間取り組んできました。その間ご指導してくださった、山本先生をはじめとして、ご指導して頂いた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

大学院では分野を変え、薄膜の研究を行います。今後も研究に対する情熱を持ち続け、社会に影響を与えられる研究者になりたいと思います。

令和2年度 八戸工業高等専門学校 専攻科特別研究テーマ一覧表

【機械システムデザインコース：AM】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
川 渡 拓 真	共振現象を利用した超高サイクル疲労試験装置の試作 Development of the Prototype of Very High Cycle Fatigue Test Equipment Using Resonance Phenomenon	武尾 文雄	
木 下 昂 大	二足歩行ロボットの製作及び制御システムの構築 Manufacture of a Bipedal Robot and Construction of a Control System	郭 福会	
黒 澤 俊 祐	3D プリンターを用いたオーダーメイド治療のための実験的検討 Experimental Examination for Order Made Treatment from 3D Printing Model	井関 祐也	
小 泉 匠 摩	ふく射効果が対流場に及ぼす影響の実験及び解析的評価 Experimental and Analytical Evaluation of the Effect of Radiation on the Convection Field	古川 琢磨	
清水川 恵 大	Bluetoothモジュールの信号受信強度と三辺測量を用いた屋内測位に関する検討 A Consideration of Indoor Positioning Using RSSI of Bluetooth Module and Trilateration	郭 福会	
高 橋 晴 輝	ペルチェモジュールを用いた高精度GHPによるグラスウール熱伝導率の測定 Measurement of Glass Wool Thermal Conductivity by High Precision GHP With Peltier Module	郭 福会	
奈 良 陽 海	理論・数値解析によるレーザー加熱療法の加熱領域制御に関する研究 A Study of Heating Region Control of Laser Therapy by Theoretical and Numerical Analysis	古川 琢磨	
西 舘 嗣 海	ディープラーニングによる全自動非侵襲温度計測の実用性評価 Possibility of Automatically Non-Invasive Temperature Measurement Method Using Deep Learning	井関 祐也	特別研究 優秀賞
水 木 瑛 介	筋固縮定量評価装置の開発 Development of Muscle Rigidity Quantitative Device	黒沢 忠輝	

【電気情報システム工学コース：AE】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
石 田 智 也	NiTiO3 薄膜成長のための NiTi ヘテロ薄膜の作製およびアニール処理の影響 Preparation of NiTi Thin Film and Influence of Annealing Treatment for NiTiO3 Thin Film Growth	中村 嘉孝	
尾 崎 大 地	畳み込みニューラルネットワークを用いた手話認識に関する研究 A Study on Sign Language Recognition Using Convolutional Neural Network	釜谷 博行	特別研究 最優秀賞
荻 田 健 徳	人工臓器用経皮ワイヤレス電力伝送システムの設計手法及び磁界暴露対策の検討 Design of Transcutaneous Wireless Power Transmission System for an Artificial Organ and Study on Countermeasure of Magnetic Field Exposure	野中 崇	
長 屋 輝	チャープ信号を用いたオブジェクトの移動検出に関する検討 A Study on Detecting Movement of Objects Using Chirp Signal	工藤 憲昌	
東 山 聖 生	腕動作と姿勢計測による仮想空間内アバタ適用に関する研究 A Study on Virtual Avatar Application Based on Arm Motion and Posture Measurement	細川 靖	
古 川 優 樹	グルコース検出用グラフェンバイオセンサーの要素技術の開発 Elemental Technology Development of Graphene Biosensor for Glucose Detection	中村 嘉孝	

【マテリアル・バイオ工学コース：AC】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
石 岡 優 吾	ポリマーアロイ法を用いた MEH-PPV 粒子の作成 Create of MEH-PPV Particles by Polymer Alloy Method	長谷川 章	
岩 藤 理 英	塩化ナトリウム水溶液中における Al-Cu および Al-Sn のガルバニック腐食 Galvanic Corrosion of Al-Cu and Al-Sn in NaCl Aqueous Solution	松本 克才	
小 山 浩 亮	カシスアントシアニンの肌老化抑制活性の解析 In Vitro Anti-Skin-Aging Activity of Blackcurrant Anthocyanins	山本 歩	
齋 藤 侑 己	p-ノニルフェノール認識能を有するホスト含有高分子膜の開発 Development of Polymer Membranes Which Contains Host Molecules With the Ability to Recognize p-Nonylphenol	菊地 康昭	
佐々木 健	塩化第二銅溶液による銅のエッチングに対する添加剤の効果 Effect of Additives on Copper Etching With Copper Chloride Solution	松本 克才	
田 口 理 央	ニンニク廃棄部位を原料とするセルロースハイドロゲルの調製とその性質 Preparation and Properties of the Cellulose Hydrogel From Garlic Disposal Parts	菊地 康昭	
立 花 慎之介	液相法によるチタン・マンガン系酸化物の合成とその負極特性評価 Synthesis of Titanium-Manganese System Oxides by Liquid Phase Method and Evaluation of Negative Electrode Characteristics	門磨 義浩	
村 田 翼	超臨界流体中での晶析過程のモデル化 Modeling the Crystallization Process in Supercritical Fluids	本間 哲雄	
横 浜 希	青森県産農林産物の口腔内細菌に対する抗菌活性 Antimicrobial Effects of Extracts From Agricultural and Forest Products From Aomori Prefecture Against Oral Bacteria	山本 歩	特別研究 優秀賞
吉 田 壮 太	新規な触媒担体を用いたアンモニア分解触媒の開発 Development of Ammonia Decomposition Catalyst Using Novel Catalyst Support	長谷川 章	

【環境都市・建築デザインコース：AZ】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
会 津 優	海藻養殖が行われている海域であるインドネシア・セリウェイの潮流解析について A Study on Tidal Flow Simulation in Seaweed Cultivation Area, Serawe, Indonesia	丸岡 晃	
川守田 祥 吾	長期材齢における LPC-FA コンクリートの耐凍害性評価 Evaluation of Frost Damage Resistance of LPC-FA Concrete at Long-Term Curing	庭瀬 一仁	
沼 沢 光	小川原湖におけるヤマトシジミ可食部の元素成分と生息環境の関係について Relationship between Element of Corbiculae Japonica and Habitat in Lake Ogawara	藤原 広和	
端 本 蓮	しらす野外盛土における降雨時水分特性の経年変化と体積含水率の挙動予測 Water Content Prediction and Water Behavior Valuation on Field Embankment	清原 雄康	
畠 山 拓 也	越波式波力装置の波浪条件と越波流量に関する数値計算 Numerical Calculation of Wave Conditions and Overtopping Flow Rate for Overtopping Wave Power Equipment	南 将人	

就職・進学体験記

就職活動体験記

電気情報工学コース5年 **神林なつみ**

(八戸市立白山台中学校出身)

私は、4年生の秋頃までインターンシップに参加した会社に就職しようと決めていましたが、就職担当の先生に、同業他社との比較をした方がいいとアドバイスしていただき考え直しました。候補を3社に絞り、パンフレットやホームページなどを調べて、それぞれの会社の特徴や魅力をノートにまとめ比較しました。しかし、新型コロナウイルスの流行により会社説明会には参加することができませんでした。そこで、会社の方に直接メールしたり、先輩から会社やその業界のことを教えていただいたりして積極的に情報を集め、1社に絞り込むことができました。そして、無事に内定をいただきました。

この先、会社説明会等は一モットが基本となり、会社の雰囲気や仕事を直に体感できないかもしれません。ですが、会社を知る手段はたくさんあると思います。大変な状況の中ですが、後輩の皆さん、就職活動頑張ってください。

専攻科受験体験記

マテリアル・バイオ工学コース5年 **竹ヶ原陽斗**

(十和田市立十和田中学校出身)

私は推薦受験を経て専攻科マテリアル・バイオ工学コース進学を決めました。私は、専攻科の推薦をとれるよう低学年のころから上位の成績に入り続けるようにしていました。

最終的に私が専攻科進学を選んだ主な理由は二つあります。1つ目は高専には留学期間が設けられているからで、2つ目は5年生になってからも部活動が続けたいと考えたからです。推薦試験は面接のみであり、他大学受験より比較的早い段階で結果が分かるため、部活に専念できると考えました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、様々な面で思うように活動することができませんでした。受験を考えている皆さんはこのような万が一のことを想定したうえで早め早めに準備しておく、余裕をもって受験に臨めると思うので頑張ってください。

大学編入体験記

環境都市・建築デザインコース5年 **長内 悠真**

(八戸市立大館中学校出身)

私は、豊橋技術科学大学建築・都市システム学課程の推薦入試を受験しました。また特別優秀学生奨学金(旧特別推薦入試制度と同規模の支援)に応募し、奨学生として採用されました。特別優秀学生奨学金は評定と席次に条件があり、厳しい内容だと思います。入試では4年次以外の成績も必要になるため、低学年のときから勉強していることをお勧めします。また今年度はコロナ対策により、面接ではなく書類選考に変更されました。各お題に対して自分の考えや専門分野のことについて答えましたが、これについては準備が必要です。推薦、学力両方ともに重要なことですが、必ず過去の情報を収集して対策を行ってください。

今年度はコロナ禍により、不安でいっぱいになりました。来年度はどうなるのかは分かりません。進路について不安になるかもしれませんが、自分自身を信じ、不安に負けず頑張ってください。

大学院試験体験記

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース2年 **小泉 匠摩**

(八戸市立第一中学校出身)

東北大学大学院工学研究科に推薦選抜試験で不合格、学力選抜試験で合格しました。推薦の失敗原因は知識不足です。専門の教科書の索引にある言葉を全て覚えましたが、原理や式など不明瞭な点がありました。学力試験対策では、先輩が残してくれた過去問を使用して勉強しました。解答がないものは、解いた後先生に確認してもらいました。教材は過去問、数学では「新版演習数学ライブラリ」のシリーズ4種類、専門教科では機械学会発行の大きな教科書です。過去問を見て理解できない点を挙げた演習書や教科書を使用して解決を目指しました。研究室見学を早めに行い、できれば共に進学する内部生を見つけて仲良くなることが大切です。受験に関して、お互いに助け合うことができます。できることは全てやる勢いで、100点をとれるように勉強すると思います。このような意識はとても大切!!

インターンシップ

環境都市・建築デザインコース4年 田中 茉優
(戸田市立第一中学校出身)

私は夏季・冬季の2回、株式会社オリエンタルコンサルタントのオンラインインターンシップに参加しました。内容は実際の業務のように構造物の維持管理の検討を行いました。インターンシップの実施方法はzoomを繋ぎながら途中で課題の進捗報告をし、個人で進めるという形態でした。

また、最終日には成果発表という形で、取り組んだ課題についてプレゼンテーションを行いました。企業でのプレゼンテーションは学校のものとは全く違うもので、自分の力のなさを痛感しました。参加後は参加したこと自体を後悔しましたが、この苦い経験が今の私の自己研鑽に繋がっています。

私が建設コンサル系の会社にインターンシップに行ったきっかけは『なんとなく』でした。ですが、参加したことで様々な刺激を受け、自分の進路を決めました。インターンシップに行くべきか迷っている方々には、行くことをお勧めします。何よりも経験することが大事だと思うからです。

環境都市・建築デザインコース4年 粒来 桃子
(洋野町立中野中学校出身)

私が授業で学んでいる製図では、費用や細かい設備はあまり考えず設計をしています。実際に学んでいる知識がどのように実際の仕事で活かされるのか学びたく、今年の8月に弘前市にある蟻塚学建築設計事務所で5日間のインターシップに参加しました。インターシップでは、主に実際に施工される住宅の模型作りを体験し、現場見学や打ち合わせにも同行させていただきました。

今回のインターシップで1番印象に残っていることは、お客様との打ち合わせです。お客様の年齢や職業だけではなく、趣味や習慣などを踏まえ、お客様の要望を聞きつつ設計プランを組み立てていく様子を拝見できたことは、とても貴重な体験で勉強になりました。5日間の体験を通し、改めて建築の魅力に気づくことができ、いつか自分自身が設計したものを実際に建てたいと強く感じました。

退職するにあたって

八戸高専での20年間

矢口 淳一

平成13年4月に八戸高専に赴任してきた時は、ちょうど新校舎が落成して移転する時で、建設環境工学科のみ改築と聞いていましたが、当時全国の高専で最も新しい教室で新鮮な気持ちで教壇に立つことを覚えています。あれからちょうど20年、最後はとても厳しい試練の年となりましたが何とか定年退職を迎えました。

赴任するまで16年間水処理会社に勤務しており、高専については全く知らないことばかりで当初はカルチャーショックの連続でした。専門は水環境工学ですが、水、大気、土壌など地域環境から地球環境まで環境関連の科目全般を担当してきました。一時はJABEE対応のため、Z以外の3学科の学生100名以上を合併教室に集め、環境工学を教えたこともありました。また優秀で学習熱心な学生たちのおかげでbeginner's luckに恵まれ、初めて出場したデザコン環境部門での最優秀賞、初めてロボコン委員を担当した時20年ぶりの東北大会優勝などは忘れられない思い出です。

学生の皆さんは気付いていないかもしれませんが、高専は普通の高校とは全く比べられないほど自分の可能性を試すチャンスに恵まれています。在学中の5年間に是非そのチャンスを生かして自分の将来を考えてください。これまで20年間何とかやってこれたのは、教職員、学生、保護者の皆様のご支援とご協力の賜物です。心から感謝申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

感謝

深田 浩一

昭和59年に筑波大学に採用され、秋田大学、弘前大学、秋田高専そして八戸高専、昭和時代から令和新時代へ渡る37年間という月日を感じ深く、それぞれの職場で数々の出来事やいろいろな人との出会いを今でも鮮明に思い出されます。

中でも国立大学の法人化への大変革。秋田大学医学部附属病院在籍中は、管理課用度係長として、医療材料、医薬品の一元管理、理想の経費削減に向けて、それに伴う棚卸し業務を医師、看護師、事務方全員が一丸となり乗り越えられたことは、事務方の私にとりまして、かけがえのない思い出となりました。

顧みますと、それぞれの職場で様々な出来事がありましたが、これまで無事に乗り越えてこれました事は、その時々の上司、先輩、同僚、皆様のお力添えがあったからこそと心から感謝しております。又、健康で定年を迎えられることを喜び、家族に感謝します。

弘前大学時代の東日本大震災、進む少子化、そして世界を揺るがすコロナ禍という未曾有の危機を目のあたりに、教育現場の対応はまだまだ半ば、大変な危機の中、必ずや皆で乗り越えられると信じております。

最後に、八戸高専が更なる飛躍と発展を遂げられることを心よりお祈り申し上げ、定年のご挨拶とさせていただきます。

教務関係のお知らせとお願い

教務主事 長谷川 章

○令和3年度行事予定について

令和3年度の行事予定表が決定いたしました。最終ページに掲載されておりますのでご覧ください。令和3年度の行事予定は、春、夏学期は例年と同様に計画致しましたが、秋、冬学期は、大幅に変更いたしました。例年であれば、秋学期は自主探究期間として授業時間数を少なめに設定し、自主探究活動に注力して参りましたが、令和3年度の秋学期は、春、夏学期と同様に授業や実験実習を中心としたカリキュラム編成を行い、自主探究活動期間を冬学期に移行いたしました。冬学期は、基本的に毎日午前中授業を行い、午後は自主探究活動に打ち込めるように時間割編成をいたします。これによって、年間を通じた自主探究活動が可能になり、低学年では、自主探究Dayを利用したコーディネーター教員等の指導、各種支援セミナーの実施、学生相互報告会（SPD）等の機会を通じて、自主探究の内容をより深めて行けるように指導して参ります。

なお、新型コロナウイルス感染状況によっては、行事予定を変更する場合がございますのでご了承ください。

○グローバルエンジニア育成事業について

本校では、昨年度より国立高専機構の「グローバルエンジニア育成事業」の採択を受け、国際的に活躍できる技術者に必要な英語力の向上を図る事業を推進しております。本事業の一貫として、令和2年度以降の入学者カリキュラムより、2年修了時に実用英語検定準2級、4年修了時にTOEICスコア400点以上の能力を有することを単位修得の要件とする審議対象科目として設定いたしました。対象となる科目は、令和3年度以降2年生で受講する英語ⅡB、令和5年度以降4年生で受講する英語演習Aです。仮に要件を満たさなかった場合、冬学期に実施されるグローバル・ラーニング・センターの補講受講が義務化され、ここで行われる模擬試験等の合格が単位認定の条

件となります。

また、すでにお知らせしているとおり、専攻科への進学条件にTOEICスコアの要件を導入しております。令和4年度入学者選抜では400点以上、5年度には450点以上、6年度には500点以上が出願要件となる予定です。本校では、グローバル・ラーニング・センターの設置、外国人教員の採用、英検・TOEICの一斉受験勉強など英語力向上の取り組みを行っております。英語でのコミュニケーションは、これからの技術者にとって必要なスキルです。英語力の向上に是非とも取り組んでいただきたいと思います。

○授業を欠席する場合の連絡について

学生の安全確保の観点より、日頃から学生の出欠状況を正確に把握することは、非常に重要です。令和2年度の秋学期より連絡なく欠席している学生に対して、学級担任から本人へ連絡を行い、本人に連絡がつかない場合、保護者に連絡して学生の所在確認を行っております。

1～3年生の通学生が欠席する場合、保護者より朝8時から8時20分までに学生課教務係（0178-27-7234）に電話連絡してください。さらに学年に関わらず学生本人からMicrosoft Formsによる連絡をいただくことになっております。

○単位修得状況の確認

本校では、進級や卒業の要件を学生便覧に記載のとおり定めております。この中に、進級、卒業に必要な総修得単位数、一般科目の修得単位数の他、実験・実習などの「審議対象科目」、卒業までに必ず修得しなければならない「必得科目」などの規定があります。特に「必得科目」は、仮に5年生に進級しても未修得単位がある場合、卒業することができません。成績表が届きましたら単位修得状況を必ず確認し、もし、必得科目が不可になっている場合、次年度の再試験で必ず回復するようにご指導ください。

厚生補導委員会から

学生主事 阿部 恵

◆クラブ活動について

今年度、コロナ感染予防をしっかりと講じて実施していた時期もありましたが、現在、クラブ活動を停止しております。感染状況が収まりましたら、再開する予定ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。

◆スマホ利用について

インターネットやスマホ等はとても便利ですが、長時間の使用による生活習慣の悪化が指摘されています。生活習慣が乱れると、心身の健康状態の悪化をもたらします。朝起きるのがつらくなったり、授業に集中できなくなったりします。今年度は1年生対象にスマホ安全の振り返りワークショップを実施して、生活習慣が改善された学生が多くいました。

ご家庭でも、スマホ等の適切な使い方について、ご指導くださいますようお願いいたします。

◆いじめ防止等について

学生対象のいじめ防止等だけではなく、私たち教職員もいじめ防止に関する講演会やワークショップ等に積極的に参加をしています。学生の皆さんがより充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き支援して参ります。

◆令和2年度ワークショップ・講演会

コロナ禍の影響で実施が厳しい状況もありましたが、下記のワークショップ・講演会（一部予定）を行いました。これらの講演会は学生支援の一環として行われ、学生にとっては多くの気づきがあり、今後の生活に役立つ大変有意義な内容でした。

ワークショップ

【生活チェックシートの振り返り】（1-3年生）

日時：令和2年10月12～11月11日

講師：松井 康博 保健指導相談員

【スマホ安全の振り返り】（1年生）

日時：令和2年10月15～20日

講師：松井 康博 保健指導相談員

講演会

【飲酒運転防止講座】（5年・専攻科生）

日時：令和2年7月13日、27、28日

講師：八戸市役所 暮らし交通安全課

防犯交通安全グループ 佐藤 健志様

(株)ムジコ・クリエイト

八戸モータースクール 徳田 紘希様

【スマホ・ケータイ安全教室】（1-3年生）

日時：令和2年7月16、21、22、28、30日

講師：松井 康博 保健指導相談員

【薬物乱用防止講演会】（2年生）

日時：令和2年10月7日、14日

講師：八戸警察署 生活安全課

大下 歩様、山田 襟佳様

【性に関する講演会】（1年生）

日時：令和2年10月13日、15日

講師：あおり女性ヘルスケア研究所

所長 蓮尾豊様

【いじめ防止講演会】（1年生）

日時：令和2年11月4日、5日

講師：仙台高専 相談室カウンセラー

濱中 ミオ様

【交通安全講話】（3年生）

日時：令和2年11月9日、18日

講師：八戸地区交通安全協会

大丸 特久剛様

【女性のための防犯講座】（1-4女子学生）

日時：令和2年12月11日

講師：青森県警察本部 生活安全部

少年女性安全課 人身安全対策第二係

警部補 竹内 幸夫様

巡査部長 中鶴間 大貴様

【消費者出前講座】（3年生）

日時：令和3年2月25日（予定）

講師：八戸市 暮らし交通安全課

消費者生活相談グループ

主事 細越 亮太様

消費生活相談員 山路 一枝様

*（ ）内は対象学年



松井康博保健指導相談員によるワークショップの様子

北 辰 寮 か ら

寮生活と新棟建設について

寮務主事 松本 克才

日頃は北辰寮の運営・活動にご協力いただき、有難うございます。本年度の学生寮は、学校全体がそうであるように、コロナコロナで振り回されてしまいました。毎年開催していた寮祭、スポーツ大会も中止となり、日々密を避け、交流の少ない不自由な生活を強いることになりました。しかし、これも皆さんが健康に学業生活を送ることができるように配慮したものですので、ご理解をいただきたく思います。

さて、来年度当初はE棟、新国際寮の工事に加え、新たにN棟を解体して新棟を建設する予定です。そのため、年度初めはどうしても受け入れ人数が足りず、寮生数を減らさざるを得ない状況となりました。ご理解をいただければ幸いです。

上記の工事が終わった際には、再入寮のご案内をさせていただきますので、今回入れなかった学生も含め、是非、入寮の検討をお願いいたします。

保護者の皆さまにおかれましても、ご迷惑をおかけしておりますが、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新総代挨拶

電気情報工学コース4年 豊島遼太郎
(洋野町立種市中学校出身)

みなさん初めまして。新総代を務めることになりました豊島遼太郎です。この度は、たくさんの方々から信任していただきありがとうございます。快適な寮の環境づくりのために努力していきますので皆さんもご協力お願いします。

寮生活でもウイルスの影響を感じずにはられない日々が続いています。これからも元の日常とは違う日々が続いていくでしょう。新2年、3年生になる皆さんには新しく入寮する新1年生への優しいサポートをお願いしたいです。親元を離れる不安と感染症に対する不安を新1年生は抱えているでしょう。困ったとき、手を差し伸べられる先輩がいるのは後輩からすると心強いと思います。そんな先輩と一緒に目指していきましょう。

あたりまえが変わったことで、相手の表情が分からないことも増えたと思います。表情が見えないコミュニケーションはとても難しいと思いますが、せっかくの寮生活です。いろんな人と話して、仲良くなって、新しいルールの中で目いっぱい寮生活を楽しみましょう。

今年の国際寮

マテリアル・バイオ工学コース5年
CHANTACHOTE PHASIT (トゥイ)

今年はコロナウイルスのせいで四月から六月まで留学生しかいない状況が続きましたが、六月に寮を再会してから少しにぎやかになりました。ただし、感染予防のため、日常から予防を意識して学生のみんが離れて生活することになり、楽しく過ごせるばかりではなかったのが残念です。

秋学期に入って、E棟が工事になって、N棟に引越しになりました。ここで会う機会がもっと少なくなって、少し寂しくなりました。しかし、個室が元々二人部屋なので、一人で使うのは非常に広く有効に活用できて良かったです。また、N棟内でシャワー室がなくて、特に冬を迎えてからの移動が大変でした。

今年は、環境面で厳しい状況でしたが、タイから1年生が2人寮に加わり、新しいメンバーが増えました。来年度はE棟の工事が終わりそうなので、またそこに戻って楽しく生活することができるのを期待しています。

国際寮での生活

環境都市・建築デザインコース5年 長畑 湧
(十和田市立甲東中学校出身)

私は昨年度から導入された国際寮に入寮し、2年目を迎えました。昨年度は留学生と生活するという新たな環境において、大変だったことや学んだことがたくさんありました。今年度は5年生という最後の年でもあったため、それを活かしてより楽しく有意義な国際寮生活を、と考えていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で年度初めは遠隔授業で寮には入れませんでした。対面授業が始まり、寮での生活が始まってコロナ対策として接触を極力避けたりと国際寮に入寮していても中々留学生と交流するということができず、もどかしさを感じました。このような状況でも寮生活の中で対策をしながら、勉強を教えるなどできることを探しました。少しの時間でしたが、異文化に触れて学ぶことができたことがとても嬉しく楽しい時間を過ごせました。国際寮で過ごした2年間は私にとってすごく大切な時間です。

コロナウイルスがいつ収束するか全く検討もつかない現在ですが、これから国際寮で生活していく後輩たちが素敵な国際寮生活を送れるように早い収束を願っています。

自主探究発表会

4 学期制実施部会 馬淵 雅生

令和3年2月8日から2月10日までの3日間、本校で自主探究発表会が行われました。今年度は、コロナ禍の下、体育館に集合して実施することは断念し、オンラインでの発表会を行うことにしました。自主探究コーディネーターを中心に、4学期制実施部会、教務委員会で検討を重ね、次のような方法で行いました。

(1) 講義棟1階の4つの教室を「実会場」と呼び、ここで、発表する学生、コーディネーター、ファシリテーター、成績審査員、来場者が集まり、一人5分の発表と2分の質疑応答を行います。これは、ネットワークなどのトラブルが起きても発表と成績審査だけは遂行できるようにするためです。

(2) 講義棟2、3階の教室を「サテライト会場」と呼び、実会場の発表会とオンラインで繋がります。発表をしない学生は、サテライト会場または自宅等で参加し、校内の密を避けます。

12月と1月に接続テストを行い、発表会の進め方を検討して、本番を迎えました。発表会は、3年生は8日、2年生は9日、1年生は最終日の10日に行いました。

校長のあいさつから始まった初日の午前、特に最初の第1セッションでは、サテライト会場で実会場の音声が聞こえないなどのアクシデントが多発し、対応に追われました。しかし、それ以降は大きなトラブルもなく、教務係の献身的なサポートにより、なんとか無事に最後まで発表会を終えることができました。

体育館での発表会では、90分間の間、学生は常に来場者からの質問に備えるのですが、今回の場合、発表時間は質疑応答も含めて7分間です。時間は短いのですが、この7分間の間、成績評価員2名と実会場にきた学生や教員から集中砲火のように質問を受けることになり、発表学生は大きなプレッシャーを感じていたはずでした。

今回は、Teamsというアプリケーションを使用して実施したため、保護者のみなさんには参加して頂くことができませんでした。どうかご了承ください。また、サテライト会場で参加する学生

が予想外に少なく、2日目以降は、会場を半数に減らすなど、企画に甘さがありました。

最後になりますが、度重なる行事予定の変更により、探究活動に集中することが難しかったという面もありましたが、多くの学生は、SPDで真剣な議論を行って研究を深め、自粛生活の中で工夫して探究をやり遂げたと思います。校長からは、「研究は失敗してもよい、その過程が大事」という励ましがあり、今回は、不十分さや失敗を来年度の探究に繋げようという姿勢が例年より多く見られたのがよかったと思います。

優秀者の投票はオンラインで行いました。主な表彰者は次のとおりです。

【校長賞】

織田 零央 (M3)

【学年最優秀賞】

1年 阿部 祐輔 (L2)

2年 吉田 幸生 (C2)

3年 織田 零央 (M3)

【国際学年最優秀賞】

最優秀 エ ム ン (E3)

優 秀 赤田 健介 (L3)

【特別審査員賞】

秋元 爽良 (L1)、内城 辰稀 (C2)、

二部 汐葉 (E3)、間部 莉帆 (E3)





今年度は新型コロナウイルス（COVID-19）で始まり、終わりました。世界中がパンデミックに陥り、今までのような海外での華々しい交流は実現できませんでした。海外派遣・受入も全て中止・延期となり、非常に限られた条件で国際交流をどのように進めていくかが課題となり、新たな「グローバル時代」を見た1年となりました。

海外に行くことができなくても、学生の皆さんがグローバル化を意識できる環境を様々な形で準備しました。

1. オンラインによる国際自主探究：

海外の協定校（シンガポール・モンゴル・タイ）と協力して、遠隔での国際自主探究を進めてきました。小規模ではありますが、TV会議システムを活用したディスカッションや、SNSでのアンケート実施など、可能な範囲での活動となりました。主な研究例としては環境問題（地球温暖化・水質汚染）、文化比較（モンゴル相撲と日本相撲、蜘蛛の糸の違い）などです。

2. 留学生との新しい交流の形

4月から新生入生として来日する予定だった2名のタイ人留学生は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため来日延期となっていました。11月に無事来日しました。来日するまでは遠隔でのホームルーム参加や、オンライン授業を受講しており、スムーズに入学することができました。タイ人留学生が所属するL1クラスでは「ウェルカム特活」で、八戸の紹介や高専での勉強・生活についてプレゼンテーションを行い、留学生との交流を深めました。



写真：タイ人留学生のウェルカム特活の様子

また、夏休み中は自国に帰国できず、八戸にとどまっていた本校の留学生のために小規模の交流会を実施しました。クラスメートとの交流や、寮での教員とのBBQ交流会に加え、教職員家族との交流イベントでは、八戸高専以外の日本人学生との交流が実現し、お互いに文化の違いに感化されたようです。冬休み中も、八戸市内の友人との交流、友人宅の訪問や昼食を



写真：教職員家族との留学生交流の様子

一緒に取るなど、コロナ禍の中でも可能な気分転換方法を自分たちで考え工夫していました。

3. グローバル講演会：

2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標である「SDGs」。その基本理念を意識し、自主探究における課題発見とテーマ設定につなげるため、一昨年度より、SDGsについての知識を深めるプログラムを実施しています。今年度もこども国連環境会議推進協会事務局長の井澤氏によるオンライン講演会を1年生対象に行いました。また、今年度は新しい試みとしてJICA（国際協力機構）の海外協力隊員としてブラジルで活動している本校の卒業生、嶋脇氏による講演会を実施しました。嶋脇氏は新型コロナウイルス感染拡大の影響で一時期帰国しており、八戸出身で本校の卒業生ということもあり、後輩学生のためにご協力いただきました。学業・就職・海外派遣等先輩のリアルな経験談に、聴講した学生たちからは様々な質問が飛び交いました。



写真：JICA嶋脇氏による講演会の様子

4. グローバルラーニングセンター（GLC）：

グローバルエンジニア育成事業の一環として立ち上げたGLCでは英検・TOEICなどの資格試験の指導だけでなく、英語を不得意とする学生の個別指導も行っています。英語がずっと不振だった日本人学生が一機奮闘し、自ら夏休みを返上してGLCで指導を受け、秋学期には無事英語の科目を合格していました。

このように国際交流センターでは、どのような状況であっても、将来のグローバルエンジニア育成に向けて、国際交流の環境・土台作りを行っています。学生の皆さんが持っている能力をより成長させるために、積極的に活用してほしいと思います。



写真：GLC英検対策ワークショップの様子

留学生報告

国際交流副センター長 馬場 秋雄

今年度は新規留学生として、タイから1年次に2名、3年次にモンゴルから1名の学生を新たに迎えて、総勢11名となりました（タイ7名、モンゴル4名）。

4月に来日予定のタイからの1年生はコロナウイルスの影響で、11月になってようやく八戸に来ることが出来ました（その間はリモート授業）。

例年通り、4月から短期留学生がフランスから来る予定でしたが、やはりコロナのため中止となりました。他の国からも受入れは無しになりました。また、楽しみにしていた恒例の行事（4月の花見小旅行、ジャンボリーなど）も全て取り止めとなっていました。本校の留学生たちもこの一年、長期休暇中も母国に帰省も出来ない状況となっていました。

そのような中で、春休みに小規模ながら燕島、種差海岸、葦毛崎展望台などへ日本人チューターたちとバス旅行を実施しました。



さらに、夏休みには本校職員のご家族と異文化体験としての交流会を実施しました。



なかなか、コロナウイルスの状況も好転の兆しが見えませんが、今後も可能な形で、様々なイベントへの参加、交流を行う予定です。

相談室から

相談室長 矢口 淳一

新型コロナウイルスの感染拡大によって、不安やストレスを抱えた生活がもう1年以上も続いていると思います。体調や将来について心配になったり、イライラしてくることもあると思います。このような状況において、悲しんだり、心配したり、困惑したり、恐ろしさや怒りを感じることは自然なことです。自分の弱さのせいだと自らを責めたり、早く回復しなければと焦ったりする必要はありません。相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラー等による支援を行っています。精神科医も定期的に来校していますので、保護者の皆様もお気軽にご相談ください。

相談室は春休み中も通常通り開室しています。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室にお問い合わせください。カウンセリングを希望する場合は、日時を予約いただいての対応になります。下記に示した本校ホームページにカウンセラー等の来校日が掲載されていますので、ご確認ください。相談は原則として「対面相談」で行います。しかし場合によっては、遠隔相談など対面以外の方法（電話、テレビ通話等）も可能ですので、ご相談ください。また社会福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカー（SSW）も週3回来校しています。家庭や学外でトラブルが生じた場合などに是非ご相談ください。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

詳しくは、窓口にお問い合わせください。

◎ インターカー（窓口） TEL 0178-27-7236

石川 久美子（看護師、保健室）

吉田 左千枝（看護師、保健室）

◎ 八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

☆ 学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0800-000-2228もあります。

（受付時間：24時間365日）

男女共同参画委員会から

女子中高生理系進路選択と 女性研究者の裾野拡大

男女共同参画委員長 戸田山 みどり

前回の高専だよりでお伝えしたように、今年度八戸高専は国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業の1つである「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の事業に採択されました。本校の元気な女子学生の姿に実際に接してもらって、女子中学生に理工系の面白さを知ってもらおう、という趣旨でした。

8月には青森市内で、9月末には弘前市内で、それぞれサイテック・フェスとして体験型のイベントを実施。特に、弘前ではミニロボットでプログラミングを体験できる「ろぼっと娘」のコーナーを始め、科学部の実験コーナー、電子情報工学部のゲーム体験、建築模型制作コーナー、数学クイズなどのブースが出展して、たいへん充実した内容でしたが、残念なことに参加者は期待したようには集まりませんでした。12月に八戸中心街で恒例となっていた「まちなか文化祭」も中止となり、代替として学校で開催を計画していたサイテック・フェス in 八戸も、急遽、中止とせざるを得ませんでした。感染症の流行状況により、致し方ないことでした。

代わりにオンラインで本校の女子学生の活躍を見ていただけるよう、女子学生へのインタビュー動画の準備中です。3月上旬にはYouTubeの八戸高専のサイトにて公開の予定です。

本校の男女共同参画推進のもういっぽうの役割である女性研究者支援に関しては、12月に、全国の高等教育機関によって結成されている全国ダイバーシティネットワークに参加しました。さっそく開催された東北ブロックのオンライン会議で現状を報告しています。今後も、他の大学・高専などと情報共有をしながら、男女共同参画を推進していきます。



サイテック・フェス in 弘前の様子

キャリア教育・支援センターから

今年度の進学状況と学習支援

キャリア教育・支援センター長 戸田山 みどり

12月末に最後の編入学試験結果が届き、今年度の卒業生の進学状況がまとまりました。

今年は新型コロナウイルスの影響で、多くの大学で編入学試験の日程や方法が急な変更を行いました。そのため通常ではほとんど8月までに実施されている国立大学の編入学試験が、大学によって対応が異なり、予定どおりに行われたり、10月にまで延期になったりと、例年のスケジュールに応じた対策がとれず、多くの受験生が困惑しました。最終的には60名が専攻科を含めた進学予定となっています。卒業予定者に対して約4割です。

12月9日には進学予定者報告会が開催され、専攻科から東北大学大学院に進学予定の学生と、編入学試験で他大学に進学予定の学生（今回は秋田大・信州大・宇都宮大・山梨大・豊橋技科大・三重大・大阪芸術大の進学予定者）の計8名が受験体験を報告しました。報告会の資料は、本校学生であればBlackboardのキャリア関連のサイトで見ることができます。

現在4年生の進学希望者は約5割となっています。11月には進学希望者全員の面談を実施しました。秋学期から冬学期にかけて、4年生及び3年生対象の数学発展セミナー、英語発展セミナー、小論文・エントリーシート個人指導などが開講されています。一方、東工大、筑波大などの大学説明会はオンラインです。また、2月には第3回となる数学実力試験が学年別に実施されます。今後は低学年から進学を意識したキャリア支援をさらに充実させていきたいと考えています。

低学年の学習支援については、来年度から全額学校負担とし、必要とされる学生全てに届けられるよう制度の変更を準備中です。今後も学生それぞれに対応した、よりきめ細かい支援を目指していきます。



進学予定者報告会の様子

ブックハンティング 実施報告

令和2年7月17日（金）に八戸ブックセンターにおいて、ブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員が中心で、自然科学、技術工学、小説などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

◎ブックハンティングでの選書紹介

書名	著者名
ネット・バカ	ニコラス・G・カー
こうして世界は誤解する	ヨリス・ライエンダイク
教養としてのマンガ	橋本博
荒木飛呂彦の漫画術	荒木飛呂彦
大人の女はどう働くか？	ロイス・P・フランケル
アート・オブ・スター・ウォーズ / スカイウォーカーの夜明け	フィル・スゾスタック、ダグ・チャン
本当の「頭のよさ」ってなんだろう？	齋藤孝
多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。	Jam
無限の天才：夭逝の数学者・ラマヌジャン	ロバート・カニゲル
絶対に住めない世界のゴースタウン	クリス・マクナブ
平和の地政学	ニコラス・J・スパイクマン
「いいね！」戦争	P.W. シンガー、エマーソン、T. ブルッキング
見るだけでわかる！ビジネス書図鑑	グロービス
高すぎ？安すぎ！？モノのねだん事典	大澤裕司
10年後に食える仕事食えない仕事	渡邊正裕
東京貧困女子。	中村淳彦
立身出世と下半身	澁谷知美
ふじようちえんのひみつ	加藤積一
くさい食べもの大全	小泉武夫
昔話にみる悪と欲望	三浦佑之
ビジュアル数学全史	クリフォード・ピックオーバー
シュレディンガーの猫	アダム・ハート＝デイヴィス
INSIDE THE STONE	山田英春

書名	著者名
私たちはどこから来て、どこへ行くのか	森達也
鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。	川上和人
美の進化	リチャード・O. プラム
青森ドクターヘリ劇的救命日記	今明秀
フォークの歯はなぜ四本になったか	実用品の進化論
未来をつくる建築100	マーク・クシュナー
飛行機のテクノロジー	ニュートンプレス
劣っていることは資産である	アドラー原作、近藤たかしまんが
日本の美しい色と言葉	桜井輝子
BTSを読む	キム・ヨンデ
成田亨の特撮美術	成田亨
作家の住まい	コロナ・ブックス編集部
舵を弾く	三角みづ紀
手を伸ばせ、そしてコマンドを入力しろ	藤田祥平
#チャンネル登録してください	藤石波矢
親愛なる	いとうせいこう
名前のない怪物	黒木京也
蜘蛛の聖餐	宝島社
坂下あたると、しじょうの宇宙	町屋良平
校閲ガール	宮木あや子
校閲ガールア・ラ・モード	宮木あや子
校閲ガールトルネード	宮木あや子
薬指の標本	小川洋子
あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛
3分で“心が温まる”ショートストーリー	小狐裕介
ほんとうのリーダーのみつけかた	梨木香歩
風と双眼鏡、膝掛け毛布	梨木香歩
死にたい夜にかぎって	爪切男
思わず考えちゃう	ヨシタケシンスケ
中国が愛を知ったころ	張愛玲
黒暗森林（上）	劉慈欣
黒暗森林（下）	劉慈欣
詳注アリス：完全決定版	ルイス・キャロル
ケプラーの憂鬱	ジョン・バンヴィル
楽園の泉	アーサー・C. クラーク
孤独な旅人	J・ケルアック
女が嘘をつくとき	リュドミラ・ウリツカヤ

オンラインロボコン！ 全国出場！

ロボコン委員長 今野 大輔

本年の高専ロボコンは新型コロナウイルス感染症の影響により、史上初の「オンライン」開催となりました。ロボコン愛好会の部員たちは、活動時間や活動方法にも制限がかかるなか、「だれかをハッピーにするロボット」という競技テーマのもと、ロボット作りに励み、10月18日に開催された高専ロボコン東北大会には、本校からは2チームが出場しました。

Aチームは、「世界中の人を笑顔にするロボット」について考え、「SDG's（持続可能な開発目標）」をテーマにしたロボットを製作しました。パフォーマンスでは、リサイクルの仕組みや重要性について、ロボットを通じて披露し、マブチモーター特別賞を受賞しました。Bチームは、今年中止となってしまった「青森の祭り」をテーマにしたロボットを製作し、県内各地方の祭りをロボットのパフォーマンスにより披露しました。Bチームは決勝ラウンドにも進出し、デザイン賞、東京エレクトロン特別賞を受賞し、さらには八戸高専では7年ぶりとなる全国大会出場を決めました。両チームとも、オンラインの中継映像配信の方法にも工夫を凝らし、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。

全国高専ロボコンは、ネット中継により多くの注目が集まる中で11月29日に開催されました。出場したBチームは惜しくも予選ラウンド敗退となりましたが、部員たちの今出せる力を全て出し切ることが出来ました。

今後とも部員一丸となって、ロボコン大賞を目指して活動して参ります。今後とも引き続き応援のほどよろしく願いいたします。



消えたプロコン全国連続出場と パソコン甲子園の快挙

顧問 細川 靖

令和2年度のプログラミングコンテストは、コロナ禍の中でオンラインという形で苫小牧高専主幹で開催された。本校は、課題部門・自由部門とも予選参加した。しかし、コロナ対策の遠隔授業で、応募締め切りが授業再開後間もなくであり、十分な準備ができないままとなり、残念ながら予選突破はならなかった。平成14年からの連続全国出場はついにストップしてしまった。前年度準優勝の競技部門が開催されなかったのは、チームメンバー全員が悔しい思いをしたと思う。次年度は、新たな気持ちでチャレンジャーとして取り組んで欲しい。

一方、パソコン甲子園は、電気情報工学コース3年の山一真也君と、新谷大翔君のチームが2年連続で全国大会出場となった。9月12日に行われた予選では、全国で565チーム中のトップ40に入った。これは青森県代表として初の2年連続であり、快挙であった。パソコン甲子園もコロナの影響でオンライン開催となり、本校の電気情報工学コースの情報通信制御実験室からの参加となった。11月14日に行われた本選では、本選会場の会津に行った昨年と比べるとリラックスした雰囲気でのコンテストに取り組むことができたようである。結果として全国上位入賞はならなかったが、現時点で持てる力は発揮できたようである。コロナ禍でも、オンラインの競技プログラミングのコンテストは安全で、今後も多数開催されると思われるので、努力を続けて欲しい。「継続は力となる」!!



2年連続出場した E3 山一君と新谷君

令和2年度各種コンテスト結果一覧

競技種目	日程・会場	結 果	備 考
第33回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2020 東北地区大会	令和2年10月18日(日) オンライン開催	Aチーム（ススめ！デキルGuys）： 予選ラウンド敗退、マブチモーター特別賞 Bチーム（碧羅）： 全国大会出場、デザイン賞、 東京エレクトロン特別賞	11/29(日) 全国大会： 予選敗退
全国高等専門学校 第31回プログラミングコンテスト	令和2年10月10日(土)～11日(日) オンライン開催	課題部門：予選敗退 （PROTECTUDY-シミュレーションによるセキュリティ学習） 自由部門：予選敗退 （POZCONS-画像認識を用いた決め技協働システム）	
第41回 青森県高等学校総合文化祭 写真部門	令和2年10月23日(金)～25日(日) 八戸市水産会館	優良賞	
第41回 青森県高等学校総合文化祭 演劇部門	令和2年10月17日(土)～18日(日) 八戸市公民館	優秀賞、創作脚本賞	「連盟賞」受賞： 【団体】演劇部 【個人】C3木村 壘生
第41回 青森県高等学校総合文化祭 書道部門	令和2年10月23日(金)～25日(日) 八戸福祉体育館	優良賞	
パソコン甲子園2020 プログラミング部門	令和2年9月12日(土) オンライン開催	ヤマイチディスタンス チーム 予選突破 (E3 山一 真也、新谷 大翔)	11/14(土) 全国大会： オンライン開催 上位入賞ならず
第20回日本情報オリンピック 本選	令和2年12月13日(日) 2次予選 オンライン開催	2次予選突破 本選代表選手 E2 二川目 祐太	2/13(土) 全国大会予定： オンライン開催

ロボコン

第33回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2020 東北地区大会

日程：令和2年10月18日(日)（オンライン開催）

結果：Aチーム（ススめ！デキルGuys）：
予選ラウンド敗退、マブチモーター特別賞
Bチーム（碧羅）：
全国大会出場、デザイン賞、東京エレクトロン特別賞



写真部

第41回 青森県高等学校総合文化祭 写真部門

日程：令和2年10月23日(金)～25日(日)

会場：八戸市水産会館

結果：優良賞



令和2年度 各種検定資格合格者一覧

			第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合計
			M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	
特別 学修	一般	実用英語技能検定準2級					0	12	10	11	13	46	5	4		3	12			1		1					0	59
		実用英語技能検定2級					0	1	3	3	4	11	1			3	4					0					0	15
		実用英語技能検定準1級					0					0					0					0					0	0
		漢字能力検定2級					0					0					0			1		1					0	1
		漢字能力検定準1級					0					0					0					0					0	0
		技術英語検定3級	1			1	2		2	2	2	6		1	2		3					0					0	11
		技術英語検定2級					0					0					0					0					0	0
		数学検定2級					0					0					0					0					0	0
		数学検定準1級					0					0					0					0					0	0
		TOEIC 400点以上470点未満					0				1	1					0				2	2	1			1	2	5
		TOEIC 470点以上600点未満					0					0		1		1	2				6	6				1	1	9
		TOEIC 600点以上730点未満					0				1	1					0	1			1	2	1			2	3	6
		TOEIC 730点以上					0					0		1			1			2		2					0	3
		日本語能力試験N2					0					0				1	1					0					0	1
		日本語能力試験N1					0					0					0					0					0	0
		知的財産管理技能士3級					0					0					0					0					0	0
		知的財産管理技能士2級					0					0					0					0					0	0
	専門	技術士第1次試験					0					0					0				15	15				4	4	19
		ラジオ音響技能検定3級					0					0					0					0					0	0
		デジタル技術検定3級					0					0					0					0					0	0
		ITパスポート					0					0					0					0					0	0
		情報システム試験システムエンジニア認定					0					0					0					0					0	0
		基本情報技術者					0					0					0					0					0	0
		応用情報技術者					0					0					0					0					0	0
		ボイラー技士2級					0					0					0					0					0	0
		電気主任技術者3種					0					0					0					0					0	0
		電気工事士2種					0					0					0					0					0	0
		危険物取扱者乙種(第4類)					0			2		2			1		1					0	1				1	4
		危険物取扱者乙種(第4類以外)					0			1		1					0	2				2					0	3
		危険物取扱者甲種					0					0					0					0					0	0
		CAD利用技術者試験					0					0					0					0					0	0
		2級土木施工管理技術試験					0					0					0				1	1				1	1	2
		2級建築施工管理技術試験					0					0					0					0					0	0
		土木技術検定試験					0					0					0					0					0	0
		消防設備士乙種(いずれかの類)					0					0					0					0					0	0
課題 研究	一般	特別企画学習Ⅰ (総合日本語)					0					0					0		1	1		2					0	2
		特別企画学習Ⅱ (R1岩手大学enPiT)					0					0					0		2			2					0	2
		特別企画学習Ⅰ (材料力学Ⅰ)					0					0					0	1				1					0	1
		特別企画学習Ⅰ (構造力学Ⅰ・Ⅱ、水理学Ⅰ、地盤工学Ⅰ)					0					0					0				1	1					0	1

新型コロナウイルス感染症への対応

リスク管理室長 武尾 文雄

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年となりました。

4月、保護者の方に教室でライブ映像を見ていただきながら、新入生のみで開催した入学式に始まり、各教室で放送による始業式、1～2日間の登校日を経て学生も教員も初めての遠隔授業。特に1年生は、まだクラスの友達の顔も分からない状態で、初めての高専の授業を自宅で一人だけで受けなければならなくなり、不安でいっぱいだったことと思います。

その後6月からの入寮・対面授業開始にあたり、学校や学寮での感染予防対策に学生の皆さんの協力をいただきました。「対策マニュアル」の冊子のほか様々な対策のお願いを、学生への一斉メールや、秋からは「さくら連絡網」で保護者の皆様にも配信しました。またFormsによる【様式0】～【様式7】を開設し、体調不良や県外移動、身近な方が濃厚接触者に特定された場合など、様々な状況で直接学校の担当者へ連絡することができる体制を整えました。これらの様式に入力された情報に対して、担当の教職員が迅速に対応することで、校内での感染拡大防止を図っています。【様式0】は、これまで700件近い利用がありました。体調不良等で自宅待機となった場合など、体調に問題がない期間は教室の映像をライブ配信することで授業を受講してもらえるようにしました。

4年生はインターンシップの機会が減り、見学旅行も中止。5年生は就職活動のオンライン面接や感染防止に最大限の注意を払っての編入学試験など、これまでにない行動制限によりストレスを感じたことと思います。また、課外活動等でも満足な活動ができず残念な思いをした学生も多かったことと思いますが、皆様のご協力に改めて感謝いたします。

昨年11月頃から大都市部を中心に感染者が増加し、いわゆる第三波が到来しました。都市部での感染拡大の影響は地方へも波及し、青森県内でも毎日数人の新規感染者が発表されることが当たり前になりました。各地でクラスターも発生しています。感染者が発生すると、同居している家族や職場・学校などで濃厚接触者が特定され、PCR検査と2週間の自宅待機が求められます。ま

た学校などの場合はクラスターの発生を抑えるため、さらに広い範囲の人を対象に検査が行われます。このため本校でも、身近な方が検査対象になったという【様式7】での連絡が増えています。連絡が入るとすぐに学校から電話で確認をし、状況によって数日の自宅待機をお願いする場合があります。また、感染状況に応じた県外への移動自粛のお願いや寮生の帰省制限、長期休業中における県外者との接触状況に応じた体温報告などをお願いすることもありました。

学校としては、このように校内での感染防止に努めておりますが、毎日のように新規感染者が発生している状況では、自分自身がしっかりと対策をしていても意図せず濃厚接触者に特定されたり、感染する可能性があります。これまでの例でも、ある日突然、職場や保健所から連絡が入り、検査対象となったことに困惑されている方がほとんどです。また同時に、自分や家族が意図せずに周囲の方へ感染させてしまったのではないかと心配されています。このような方は何も悪くありません。誰でもその立場になることがあり得るのです。これらの人を特定しようとしたり、誹謗中傷するような行為は厳に慎みましょう。

ワクチンの接種も始まっていますが、令和3年度も、4月以降の感染拡大状況によってさまざまな制約が出てくる可能性があります。本校では、これまで同様、感染予防と感染拡大防止の対策を取ってまいります。そこで重要なのは「基本的な感染予防対策の徹底」と「迅速・確実な連絡」です。万一、感染者と接触したとしても、マスクの着用、換気、こまめな手指消毒等を徹底していれば、感染の可能性を大きく低減することができます。また感染者が発生しても、感染疑いが分かった時点で速やかに学校に連絡し、自宅待機等の対策を取れば、そこからの感染拡大を最低限に抑えることができます。スピードが重要です。

約300名の学生が居住する学寮を有する本校は、課外活動などにおいて他の高校等よりも強めの対策を取っております。学生、保護者の皆様には、本校の方針と対策についてこれまで同様、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年の留学生紹介

友達になってください

電気情報工学コース1年
ジランタニン・カスィアン（ジェット）
（タイ）

はじめまして、ぼくはジェットです。タイの留学生です。今、電気情報工学コースの1年生です。高専の生活はとても楽しくて、毎日充実しています。友達はみんな話しやすいし、先生たちもぼくがこまっていることがあると、いつも助けてくれます。勉強は大変で、なかでも一番大変なのは日本語です。ぼくは日本人じゃないよ！それから、ぼくはスポーツが好きです。いろいろなスポーツをしたことがあります。サッカー、バスケットボール、卓球などです。でも一番好きなスポーツはバドミントンで、今バドミントン部に所属しています。授業が終わった後、ぼくは毎日友達と話してから寮に帰ります。みんなと話すので、ぼくはいつも最後になります。ときどき友達と買い物したり、ご飯をたべたり、散歩したりします。

これからもいろいろな人と仲良くなりたいです。どうぞよろしく願いいたします。

高専の生活

電気情報工学コース1年
ナクリット・カムブット（アンシーン）
（タイ）

はじめまして、アンシーンです。タイから来ました。L1、Eコースの学生です。Eコースの勉強はとても難しいですが、楽しいです。好きな科目は日本語とプログラミングで、電気基礎に苦労しています。趣味はゲームとバスケットボールで、高専ではバスケットボール部に入りました。ジェームズ・ハーデンという選手を知っていますか。彼はNBAの選手で、私にとってのスターです。

ぼくは寮生です。寮では先輩も友達も優しいし、たくさん助けてくれるので、とてもありがたいです。週末は時々自分で料理を作ったり、バスケットボールをしたりしています。また暇なときは、クラスメートとゲームをしたり、バスケットボールをしたりしています。初めて日本に来たとき、私はとても緊張していて、分からないことも多かったです。でも、いつも誰かが私を助けてくれました。高専の生活はとてもいいです。



令和3年度 八戸工業高等専門学校行事予定表

[illegible]

※ただし、都合により変更する場合があります。